

各 位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 取締役社長 後藤 高志
(コード番号：9024 東証一部)
問合せ先 広報部長 川上 清人
(TEL.03-6709-3112)

西武グループの新規事業アイデア公募プログラム「SWING OPEN」
事業化検討案として、応募総数 171 案から6案のアイデアを選出
～社会の課題解決型、新しいライフスタイルを産み出す新規事業案が揃う～

当社は、新規事業分野の創出を担う部署である「西武ラボ」が中心となり、これからの社会に求められるイノベティブかつ熱い思いが込められたアイデアを公募する「SWING OPEN」を 2019 年 10 月 30 日(水) から 2020 年 1 月 16 日(木)まで開催いたしました。テーマを「Distance, Re-stance ～距離感に対するスタンスの再定義～」とし、総数 171 案の応募から、厳正なる審査を経て、6案のアイデアを事業化検討案として選出いたしました。今後は、選出した6案のアイデアをサポートし、事業化へ向けた検討や実証試験を進めてまいります。



● 選出された6個の事業化検討アイデア案

1. 「オンとオフの距離を再定義」
良い学び、仕事、仲間と居られる毎日をつくる「学・遊・働」施設・コンテンツ事業
2. 「最寄り駅がわたしのクローゼットになる」
手持ち服をデータ化、AI が毎日のコーディネートもしてくれる駅ナカクローゼット事業
3. 「今日の私から離れて、もとの私に近づく」
都心近郊で自然に囲まれた海外基準のリトリート施設事業
4. 「お茶や沿線の特産品を身近なものに」
自動販売機を活用したカジュアルなお土産販売チャネル
5. 「豊かな森林を未来の世代へ」
サステナブルな森林を創造する、木材流通プラットフォーム
6. 「働く人も、ほほえむ人へ。」
不動産、働き方、健康の負債を価値に変えるリモートワーク施設・サービス事業

昨年引き続き2回目の開催となる「SWING OPEN」は、テーマを「Distance, Re-stance ～距離感に対するスタンスの再定義～」とし、法人・個人を問わず幅広くアイデア公募いたしました。その結果、前回より38案多い171案のアイデア応募があり、そのうち約1割に当たる18案は当社グループ社員によるもので、グループ内の新規事業への意気込み、期待の高まりを感じられました。

遠隔地での働き方、マインドフルネスを実現するサービスなど、働き方改革やSDG's(持続可能な開発目標)などを意識した“新しいライフスタイルの実現”を目指した案が多くみられ「距離感の再定義」というテーマ設定が今の社会課題を映しだす結果となりました。

公募期間中は、起案者のアイデアを磨いていくためのワークショップを2019年11月から開催。さらに質問・相談を受け付ける個別面談の機会を設けるなど、起案者との“距離”を詰め、相互理解を深めながら検討を進めてまいりました。2020年1月に応募を締め切り1次審査の結果を発表、その後最終審査を経て、当社との事業シナジーが可能な検討案6案を絞り込みました。

なお、当初3月末に発表会の開催を予定しておりましたが、今般の社会情勢を鑑み、中止いたしました。

西武ラボ部長 田中健司コメント

「2回目となった新規事業アイデア公募プログラム「SWING OPEN」のテーマは“距離感”を掲げましたが、昨今、在宅勤務による仕事の進め方など、社会のルールも急速に変化をしようとしている状況の中、私たちがテーマとして掲げた“距離の再定義”は、まさに今後の with コロナ、after コロナ時代における生活者の価値変容を反映したものになったと考えています。 SWING OPEN のアイデンティティとして、データやテクノロジーだけじゃない愛があるアイデア「アイ・ドリブン」を掲げてきました。今回の6案は、そのアイデンティティに相応しい“心の距離感”を感じられるものを選出しています。新型コロナウイルスの影響により日本のみならず世界的にダメージを受けている時期ではありますが、新規事業をじっくりと検討するプラスの機会と受け止め、事業化に向けて準備を進めていきたいと考えています。」

● 選出された6個の事業化検討アイデア案(詳細)

1. 「オンとオフの距離を再定義」

良い学び、仕事、仲間と居られる毎日をつくる「学・遊・働」施設・コンテンツ事業

起案者：竹内誠一



新しい学びの場は自分たち自身が求めていたもの。暮らし方、働き方、これから私たちの暮らしは大きく変化していく。その中で、変わり続けていくべきこと、これからも大事にしていくものをしっかりと見極め、自分たちの欲しい未来、新しい学びの場を作って行きたいと思います。

2. 「最寄り駅がわたしのクローゼットになる」

手持ち服をデータ化、AIが毎日のコーディネートもしてくれる駅ナカクローゼット事業

起案者: 株式会社 STANDING OVATION 代表取締役 萩田芳宏



AIが手持ち服からコーデ提案してくれる、オンライン・クローゼットアプリ「XZ(クローゼット)」が、オンラインとオフラインの融合(OMO)で、新しいコーデ・コマース体験を提供します。生活導線の「駅」をタッチポイント化し、スマホでクローゼットを持ち歩くライフスタイル実現が加速できると期待しています。

3. 「今日の私から離れて、もとの私に近づく」

都心近郊で自然に囲まれた海外基準のリトリート施設事業

起案者: 株式会社西武ホールディングス 深瀬敦子



ヨガや森林散策、瞑想などを通して「自分自身の発見」ができることで人気の「リトリート」と西武沿線が持つ豊かな自然を組み合わせることで、新しい価値を人々に提供できると考えました。働き方やライフスタイルなどの価値観が変化する中、このリトリートプログラムをきっかけに、西武グループが現在の時流に沿って、より幅広い層にブランドとして認知されることを期待します。

4. 「お茶や沿線の特産品を身近なものに」

自動販売機を活用したカジュアルなお土産販売チャネル

起案者: 株式会社 KAWANE ホールディングス 取締役 新谷健司



お土産が売れるプラットフォームをつくり、地域課題を解決していきたいと考えていた中で、『西武グループとの「新結合」で生み出す、新しい価値』というSWING OPENのコンセプトに出会い、応募しました。選出されたからには、当社の理念である「地域課題の解決」につながる価値ある事業づくりに挑戦していきたいです。

5. 「豊かな森林を未来の世代へ」

サステイナブルな森林を創造する、木材流通プラットフォーム

起案者: 株式会社森未来 代表取締役 浅野純平



当社の事業フィールドである林業は、奥深い地域における産業であり、収穫まで50年以上の時間を要する産業でもあります。西武グループのアセットを有効活用することで、物理的な距離と時間軸の距離をリデザインし、「森の未来」を共につくっていくよう全力を尽くしていきます。

6. 「働く人も、ほほえむ人へ。」

不動産、働き方、健康の負債を価値に変えるリモートワーク施設・サービス事業

起案者: フロッグカンパニー株式会社 代表取締役 會田昌史



前回の SWING では残念ながら選出されませんでした。が企画精度をあげたことで今回の SWING OPEN で選出され嬉しく思います。

リモートワークが普及した社会になければならない、距離を超えた人々の新しい生活を改革するサービスを弊社の技術と西武グループのアセットを融合させ実現できることを楽しみにしています。

以上